

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	24-041	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Alcohol policy changes during the first three-months of the COVID-19 pandemic: Development and application of a classification scheme COVID-19 パンデミック発生から3ヶ月間のアルコール政策の変化：分類スキームの開発と適用		
執筆者		
Peña S, Wilkinson C, Aresi G, Barrett L, Boniface S, Fitzgerald N, Norambuena P, Paradis C, Román F, Sierralta P.		
掲載誌		
Int J Drug Policy. 2024 May;127:104373. doi: 10.1016/j.drugpo.2024.104373.		
キーワード	PMID	
アルコール政策、COVID-19、分類、法疫学、政策監視	38537492	
要旨		
<p><b>背景:</b> COVID-19 パンデミックに対応した政策変更は、アルコール規制に影響を及ぼしている。この研究では、5つの国・地方自治体における COVID-19 パンデミックの最初の3か月間でのアルコール政策変更をとらえるための分類スキームの開発と適用を報告する。</p> <p><b>方法:</b> 2020年3月から5月までのオーストラリア/ニューサウスウェールズ、カナダ/オンタリオ、チリ、イタリア、イギリスにおける政策決定の体系的レビューである。政府文書の国固有の検索方法を使用して、各管轄区域のデータを抽出した。WHO 分類スキームを使用して政策変更をコード化し、①政策がアルコール規制を強化するか緩和するか、②消費と害に対して、即時または遅延の影響があるか、③一般集団と特定の集団に対して影響を与えるかどうかを判断しました。</p> <p><b>結果:</b> 4段階の分類体系を作成し、既存の政策オプションではアルコールの入手可能性に関する政策変更を捉えるのに不十分であったため、17の新しいサブカテゴリを追加した。対象とした5つの管轄区域で114のアルコール管理政策が導入され、WHOの10の活動分野のうち5つをカバーしていた。大多数は、アルコール販売店の運営を規制することで、アルコールの入手可能性を変えることを目指したものであった。すべての国で店内のアルコール販売店の閉鎖が導入され、チリを除いて持ち帰りまたは宅配による店外販売が許可された。また、アルコール産業を支援するために補助金を導入する価格設定政策もいくつか確認された。政策変更の74%はアルコール管理を強化するもので、12.3%は管理を弱めるものと判断された。弱める政策変更は、ほとんどが小売形態の切り替えまたは拡大(持ち帰りまたは宅配の許可)に関連していた。</p> <p><b>結論:</b> COVID-19 パンデミックの最初の3か月間のアルコール管理政策は、主にアルコールの入手可能性を対象としており、約10分の1はアルコール管理を弱める可能性があります。COVID-19 パンデミック中のアルコール小売への一時的な変更が恒久的なものになれば、アルコールの入手可能性が大幅に拡大する可能性がある。</p>		